

精神・神経の症状に使える漢方薬

イライラする 不安
ゆううつ 不眠 など



こういう症状が続くと内科を受診します。
あまりしつこく訴えると心療内科・精神科の
受診をすすめられます。

それが正解のこともあります。
それが不正解のこともあります。

例えば、生理の3日前になると、急にイライラしはじめ暴言を吐いてしまう、わかっているけど子供や夫にやつあたりしてしまう、生理中に腹痛、頭痛が起こり、便秘も治らない、という訴えがあります。

西洋薬で対応すると、精神安定剤、鎮痛剤、整腸剤、下剤など簡単に4種類以上の薬が処方されます。

これらの訴えに対して漢方薬なら加味逍遙散(かみしょうようさん)を飲めば、かなり症状が楽になる事が期待できます。

こういうシリーズの漢方薬がいくつかあります。

西洋薬を飲みながらも結構です。

気楽に相談して下さい。



候補になる処方（一部）

神経症	半夏瀉心湯(はんげしゃんしんとう)、 抑肝散(よくかんさん)、大承気湯(だいしょうきとう) など
ヒステリー	四逆散(しぎゃくさん)、 甘麦大棗湯(かんばくたいそうとう) など
不安神経症	半夏厚朴湯(はんげこうぼくとう) など
不眠症	大柴胡湯(だいさいこうとう)、帰脾湯(きひとう) など

10月からの予定

大きく2つあります。

1 水痘(すいとう:みずぼうそうのこと) ワクチンが定期接種となります。

対象者:	生後12ヶ月から生後36ヶ月未満(1歳から3歳未満)
接種方法:	2回接種
標準的な接種:	生後12ヶ月から15ヶ月までに1回目を接種、2回目を6-12月(半年から1年)間隔を空けて接種(計2回)
【経過措置】	平成26年度に限り、生後36ヶ月から生後60ヶ月にあるものは1回注射できる
その他:	既に水痘に罹患した者は対象外です。 任意接種で1回接種した者は、公費で1回だけ接種できます。

2 インフルエンザワクチンの接種を開始します。

10月に入り次第予約を始めます。原則予約制とします。

生後6ヶ月-小学生は2回、中学生以上大人の方は1回接種です。

※9月下旬に詳細をお知らせします。

お知らせ

小児夜間急病センター当番日

9月6日(土) 19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院

講演会・セミナーのお知らせ

①9月3日(水)おひさまセミナー①

「プロが教える漢方薬のよさ」(問い合わせ:058-328-2078)

②9月10日(水)南保育所講演会

「今年のカゼ対策 2014-2015」(問い合わせ:058-328-2602)

③9月24日(水)Meets Vision セミナー(プリムローズ内)

「症例から学ぶ漢方薬」(問い合わせ:080-3636-4046 代表:松岡)